事務局便り

第９１号（令和３年６月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

今期（４・５月）は武漢ウィールスの猛威の前に如何ともし難く、本会総会初め諸行事が中止あるいは縮小実施とせざるを得なくなりました。
本年度もまた、多難な滑り出しとなりました。
武漢ウィールスの跳梁跋扈の現状は、緊急事態宣言の３度の発出・延長等大混乱、まさに国難・有事と言える情勢であります。
ワクチン接種も始まりました！皆様におかれましては、くれぐれも健康管理、感染防止に留意され、共にこの試練を乗り越えて参りましょう！！
「武漢ウィールス如きに負けてなるものか！！」の気概を持ってこの国難を乗り越えましょう！
（加賀本）

案内事項

令和３年度第２回理事会

令和３年度第２回理事会を７月２２日（木）１６００～１７００で開催を予定しております。
理事の方には、別途ご連絡申し上げます。
なお、その後１８００からは歴史研究会を実施します。　担当　熊谷

６月・７月度歴史研究会

令和３年６月・７月度の歴史研究会は、以下で予定します。会員以外の方でも参加できます。
また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。
場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)
大阪駅前第１ビル 11 階南側です。
講義・ディスカッション後、軽食・懇談を実施します。多くの方のご参加をお待ちしております。
参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、４日前までに加賀本までご連絡ください。
必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。
担当　加賀本
TEL：072-785-8954　携帯 090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp
【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。資料はプリントアウトしてご持参下さい。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付致します。】

６月度

日時：６月２４日(木)　１８～２０時
中国共産党の世界支配はここまで進んでいる！！（その１）
内容：「総括と豪州人からのメッセージ」です。
田川顧問に担当して頂きます。
「Silent Invasion”（目に見えぬ侵略）クライブ・ハミルトン著」でオーストラリアがひどく中国共産党に侵略されていることは知識としては知っていましたが、世界的にはたいしたことはないだろうと、安易な気持ちでおりました。
しかし「見えない手」ではなんと驚いた事に世界中のディープステートが揃って討ち死にしていることが細部にわたって、実名で書いてある。
是非皆さんに報告したいということで、一連の関係文書を含め要約してみました。
事後数回にわたりシリーズで実施します。今回はその第１回目です。使用する資料は以下です。
１．「目に見えぬ侵略」・「見えない手」副読本（奥山真司監修・『Hanada』編集部著
２．「世界の未来は日本にかかっている中国の侵略を阻止せよ」（豪・アンドリュー・トムソン著で”豪州人から日本に対するメッセージ”と宣伝）
オーストラリアからのメッセージを受け止め、大いにディスカッションしましょう！

７月度

日時：７月２２日(木)　１８～２０時
「中国共産党の世界支配はここまで進んでいる！！（その２）」です。
内容:「オーストラリアは如何にして侵略されたか」です。田川顧問に担当して頂きます。
中共が本格的に牙をむくのは、来年、北京オリンピック後（ボイコット・中止となればさらに早くなる）と予想されていますが、水面下では既にあらゆる手段を使ってあらゆる国に間接侵略の手が伸びている。オーストラリアの場合をよく吟味して、我が国に振り返って大いにディスカッションしましょう。

会員増勢のお願い

会員各位へ
ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国家・国民は滅亡すると言います。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとして、戦没英霊の慰霊顕彰活動を主体的に実施する崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません！！
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
偕行会の隆盛を願って、全員で会員の増勢へのご尽力、ご協力を衷心よりお願い致します。
情報を頂ければ、事務局で対応いたします。
担当　加賀本

令和３年度第１回理事会

４月１５日（木）１６００から第１回理事会を実施し、総会等の準備事項等を検討しました。
担当　熊谷

報告事項

昭和殉難法務死英霊追悼年次法要

４月２９日（水・昭和の佳節）の昭和殉難法務死英霊年次法要行事は、武漢ウィールスの猛威ため関係者のみの実施となりました。
昭和殉難者法務死追悼慰霊碑を守る会から築野富美会長、本会からは加賀本会長・熊谷事務局長の２名が参列しました。
午前１１時、高野山奥の院　追悼碑前は、折から激しい雨！　ご英霊の現世に対する嘆きの深き激情・慟哭を感ぜられずにはおられませんでした。
その激しい雨の中、高野山真言宗菅長総本山金剛峯寺座主　葛西光義猊下以下御重役方々１０名は、法務死された英霊の御霊の安寧を願い、法衣の濡れも厭わぬ、厳粛かつ熱情の籠った読経を執り行ってくださいました。
その故か追悼法要の終わる頃には雨も穏やかな降りとなり、ご英霊の激情も癒されたのでは・・と感ぜられました。

法衣も濡れる厳粛かつ熱情の籠った読経

参加予定者の皆様も参集は叶いませんでしたが、それぞれの地で、英霊に対し心からなる感謝と慰霊の誠を捧げられた事と拝察いたします。
以下に当日賜りました高野山真言宗菅長総本山金剛峯寺座主　大僧正光義猊下の昭和殉難者法務死精霊追悼文を記します。

昭和殉難者法務死精霊追悼文

夫れ　仁者は正に天下の憂いに先立ちて憂え　天下の楽しみに遅れて楽しむと　今ここに弔意を捧げんとする山下奉文大将閣下及び一千八十余柱の英魂は　身　夙に軍籍にあり只菅　国策の伸長に専念し　偏に国運の開拓に戮力せり　然れば　大東亜戦争の勃発するや　身を塞北に挺して砲弾弾

雨を凌ぎ　肝を南溟に砕いて屍山血河を超え　具に　艱難を嘗めて　従容完爾　唯　国あるを知りて我あるを知らず　義あるを思うて身あるを忘る蓋し　天の　将に大任を下さんとするや　必ず先ず　その心志を苦しめ　その筋骨を労せしむればなり

然るに　何ぞ図らん　時運拙く　国策の破綻に遭うて所期の目的を果たすこと能わず　功は敗戦の汚名に抹し　労は降伏の恥辱に包まれて慰むること能わざりき　遂に　名を戦犯裁判に借りて　冤罪を以て刑場に誅せらる　その恨む処　真に万斛耳　之を聞くに堪えず　心　之を偲ぶに耐えざりき

爾来　光陰早くも転じて七十有余年を閲す　日愈々遠くして　思い　愈々滋く　思い滋くして情　更に溢る　怪々たる海潮の声を聴いては　魂魄の今に迷えるかを疑い　燦燦たる天辺の星を仰いでは　英霊の今に瞬けるにはあらざるかを思う重ねて　其の功績の平和　安寧の風に蕩散し　日月忽忙の波に亡失せられんことを恨む　如かじ幽魂を天地の外に慰むるの手段を執らんには　よって　高野山奥の院に追悼の碑を建立し　弘法大師の照鑑を仰ぎ　その雄志を紫明の山水に留めんとす　定んで　諸々の勇者等　大師寶前に再会を果たし　その思念を馳せて　南海に激戦の孤島を訪い　北満に草むす墓前に集わん

今　天下大疫す　病魔　その貌を転変して　普天率土を覆い　悪疾　老若男女を選ばず　肺腑を襲う　薬効未だ現れず　病床に施術空しく　死屍累々として路上に満ち　哀哭　耳をつんざく　遂に感染する者１億５千万余　死亡する者３百万を超え　収まる処を知らず　物心の混乱激甚にして空前の修羅場を現ず　　少衲

山内浄侶と共に　般若理趣の妙典を唱え　光明真言の神呪を誦じて　諸々の英霊に病魔の退散を請い奉る　願わくば　護国の丹心を以て　速やかに悪疾を砕き給わんことを

南無大師遍照金剛

令和三年四月二九日

高野山真言宗管長

総本山金剛峯寺座主　大僧正光義　敬白

担当　加賀本・熊谷

令和３年度総会（中止）

５月１３日（木）に予定しておりました平成３年度総会は、緊急事態宣言が２３日までの延長に伴う「会合等受け入れ自粛要請」のため会場が使用できなくなり、止むを得ず中止のやむなきに至りました。

実施の固い決意のもとに準備を進めておりましたが、２年連続の中止となって仕舞いました。

既に参加を申し出て居られた４０名の皆様には誠に申し訳なく、また納入頂いた方々の会費は、来年度会費として大切に保管させて頂きます。

ご理解を賜りたいと思います。

令和４度総会（５月１９日予定）には武漢ウィールスを撲滅し得て、元気に再会できることを祈念申し上げます。

担当　加賀本

陸上自衛隊現役幹部に対する広報教育

６月に予定されておりました偕行社広報教育は、武漢ウィールス禍のため中止となりました。

担当　加賀本

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

同期の桜を歌う会

４月３日（土）１３：００から大阪護国神社社殿横で「同期の桜を歌う会」が開催されました。

昨年は残念ながら武漢ウィールス禍により中止となりました。本年は、「まん防」発令下ではありましたが、「武漢ウィールスをぶっ飛ばせ！！同期の桜を歌う会」と銘打って、実施されました。

参加者の減少が心配されましたが、晴天に恵まれ、満開の桜、落花しきりの中、多くの参加者があり

ました。特に若者、夫婦、子供連れ等も意外に多く、心強く感じました。
参加者一同、英霊に届けとばかりに、音程も何のその蛮声を張り上げて合唱していました。
折から多くの花見客もあり、興味深げに聞き入っていました。
ご英霊のご加護もあり、幸い１名の感染者も発生しませんでした。
当会から加賀本・熊谷・太田・岸岡女史の４名が参加しました。
担当　加賀本

陸上自衛隊第３師団創立６０周年記念行事

令和３年５月１５日（土）に予定されておりました第３師団創立６０周年記念行事は武漢ウィールス禍のため中止となりました。
担当　加賀本

大阪護国神社春季例大祭

大阪護国神社春季例大祭が５月２０日（木）１０時から斎行されました。武漢ウィールス禍のため関係者のみに制限して厳粛に行われました。
本会から会長の加賀本が代表参加しました。
担当　加賀本

紹介案内

今期は特にありません。

和歌山偕行会便り

奥野和歌山偕行会会長所感
「道理の判った政治家達とは？！」　最近、フーバー著「裏切られた自由」に関して少しずつ考察を加えています。ヒットラーが台頭し始めてから、ポーランド侵攻辺りまでのヒットラーを軸にした英仏・ソ連等の外交上の駆け引きは、ダイナミックで誠に興味深いものがあります。非常に抽象的な視点ですが、「道理の判った政治家」という観点から、各国首脳達の力量差が歴然です。ヒットラーの台頭は、英仏等の欧州主要国の独逸に対する宥和政策が原因だと一括りにするのは単純すぎます。当時の欧州情勢を、フーバーやルーズベルトが、どう観ていたのかも興味深いところです。更に、世界大恐慌の最中、ヒットラーは公共投資を促進してアウトバーン等のインフラ整備を梃に、景気浮揚に成功しています。一方、ルーズベルトは、ダム工事などの公共投資で米国経済の活性化に成功したと吹聴されていますが、成果はどうも芳しくなかった様です。それを覆い隠す為、或いは別途経済策として、欧州戦線に関与して、武器輸出で経済を潤そうとしたと考えられます。その為、中立法(武器輸出禁止法)の見直しについて検討し、与野党とも真摯に議論をしています。当時は、道理の判った政治家が多かったことが伺えます。
（文責・奥野）

編集後記

昨年度同様、本年度も４、５月は本会を初め、志を同じくする諸団体の諸行事が中止あるいは縮小実施となりました。武漢ウィールスの悪疫により、ご英霊への慰霊も十分に行えない状況に陥り、心苦しい限りであります。
今後は、ワクチン接種の進捗と共に、志も新たに活動に励んで参りたいと思っております。
ご協力の程宜しくお願い致します。　（加賀本）

近　畿　偕　行　会
会　長　加賀本 昭雄

編集責任者　熊谷　勉
〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201
Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97
Tel:072-785-8954